

Bird in Mouth

創刊号

13

画ってなに!?

今回新聞を創刊するにあたり、インタビュコーナーを設けました。記念すべき第一回は、(株)日環サービスの代表取締役、鳥井口清信社長に5つの質問に答えて頂きました。



代表取締役社長 鳥井口清信 1950年生まれ 鹿児島県出身

Q1 なぜ清掃業をしようと思ったのですか？

最初、木の消毒の仕事をちよつとやってた時に、しみ抜きがあったんだよね。

新築の柱に、オレンジの薬剤がついたわけですよ。1本10万円の柱に。

うわーと思ったんだけど、しみ抜きを抜く人が来て、抜いたわけ。それ見て、これだ！これだったら絶対出来る！と思ったか

Q2 日環サービスの名の由来は？

元々、日環の由来は日本の環境という意味で、ハウスを扱うサービスマスター

から(有)日環ハウスサービスという名前が立ち上がったんですよ。それで、今の名前に変えたのは、商業ベースのビルなんか

にいくと、「あーハウスサービス、ハウスしか出来ないんですかあ」って住宅のメンテナンス専門だと思われちゃって、じゃあトータル的に建物全体だよ、ということでも株式会社にして、ハウスを抜いて(株)日環サービスに

変えたんですよ。
Q3 大事にしていることは？

ネットワークが一番大事なんじゃないかなと思う。なんやかんや、やり方もこう、いろいろ変わってくるじゃないですか。一つのやり方だけでいいっていうもんじゃな

いから。いろんな創造し、技術の開発をして、どんな前に進化していくやり方であればいいのかなと勉強しなくちゃいけないし、やればよかっただけ

があるから。そうやって人と人のネットワークを広げていくってことが、一番大事です。

Q4 会社のアピールポイントは何？

他でやらない仕事。同じ業者でもやっているところが少ない仕事を、専門的な技術で対応出来る様にしているところですよ。例えば、木の洗いや、コーティング関係とか。特化的な蘇生の仕事のことだね。

建物はさ、内部だと壁4面、天井、床で六面じゃないですか。それで外部が6面。これで12面

だよ。今度は地下が入ると13。13面体を管理したいと思ってるんですよ。

今は6面体の内部、外部、屋上、地下まで入れると13面体の管理、その中の一つがたとえば清掃なんだよね。で、今までは設備をやらなかったから、12。それが、設備をやるようになったから、地下まで入って13面体なんですよ。

13面体ってあまり聞かないと思いますよ？俺は昔からずっと、13面体13面って言うてるんだけどね(笑)

Q5 今後の会社の方針は？

これから若手の時代になっていくだろうから、人が育つ会社にした。会社を育ててから人を育てるのではなくて、人を育てる事によって会社を大きくする。自分で仕事を覚えてたら、自分だけじゃなくて後輩に伝授する。教えて、その分だけ自分が身軽になったら、また新しい事を吸収する。そうすることによって、2人しか出来ないのが5人になるわけですよ。そうすると、みーんなが同じことが出来るわけじゃないですか。基本の基は大樹の樹(き)。

大樹の樹は、基本の幹が大きくて、枝がいっぱいあるじゃないですか。その枝を、個人個人がどういう形で造っていくかということ。幹が会社のシステムとしたら、枝は自分たちで造っていく。いろんなチームや同業者がお互いに隠れるようにではなくて、枝を広げていけるようにすれば業界全体も成長するし、自分の会社も全然違うと思うんだよね。そういうことで、段々輪が広がっていくし、そういうシステムを造っていきたくて思っています。

それで、今後は今やっている仕事プラス、他が出来る仕事、他がやれない様な仕事を、アクセントとしてやっていきたいと思っています。そのうちまた新しいシステムが変わる仕事があります。

それはまだ、シークレットのお楽しみでございます！
(金川)

創刊にあたり...

この度の弊社社報誌は、社内のみならず社外の皆様へ我社の経営方針や、歴史、社会貢献や企業の取組み内容をお知らせし、各事業部の現状を「新聞」形式で少しづつでも皆様へお伝え出来ればと思います。企画編集部を設立して創刊いたしました。

近年、人と人が直接対話をする機会が、業務の多忙さや会話の面倒な事を理由に減少傾向にあります。業務通達や報告がメールのみで済まされてしまい、先輩や上司と会話を直接する事で取り出せる大切な情報やコミュニケーションに付かないとも言われます。もちろん我々においても例外ではありません。人が、商いを目的とせず、独自の目線から発信する「情報誌」として身近に親しみを持って頂き、社内、社外問わずコミュニケーションツールの一つとして本誌を可愛がって頂ければ幸いです。

(清水)

知恵袋

「お風呂の水垢ってどうやって落とすの?」

私たちがクリーニング

をしている中で、「お風呂

の水垢ってどうやって落

とすの?」とよく聞かれ

ます。水垢とは、水道水

にとけているカルシウム

やマグネシウムの残留物

が濡れては蒸発を繰り返

すうちに蓄積していき、

落ちにくい頑固な水垢に

なるそうです。私たちは

通常、業務用酸性洗剤や

研磨剤、耐水ペーパーな

どを利用し、水垢を除去

します。

今回は身近で安全なもの

を使用した、簡単にでき

るクリーニングの方法を

ご紹介します。

●用意するもの

・レモン(今回は半分使用)

・歯磨き粉・タオル

・いろいろなプラスチック

のカード

●方法

まずレモン汁を洗面台に

絞ります。

タオルに歯磨き粉を少量

つけて磨きます…。

これだけでかなり洗面台



がつるつるになります。

レモンのクエン酸が水垢

のカルシウムを溶かし、

歯磨き粉が研磨剤になる

ことによって、水垢が落

ちるのです。水垢がひど

い場合は、いろいろなプラ

スチックのカードで水垢

を削ってから、キッチン

ペーパーにレモン汁をた

らしてシッパをするとき

らに落ちやすくなりま

す。レモンを使うことに

よって、綺麗になったう

え爽やかな香りがただよ

い、気分もリフレッシュ

ユー皆さま、是非おため

しあれ! (めぐ)

いよいよ

食欲の秋到来!

秋刀魚、鮭、鯖といっ

た魚介類から、きのこ各

種、里芋、栗等々。秋か

ら冬にかけて美味しい旬

の食材が登場してきま

す。日本酒にも旬がある

ことをご存知ですか?

日本酒は、秋に収穫した

新米を原料にして仕込

み、おもに冬から早春に

かけて造られます。冬の

一〜三月ごろが旬の

「しぼりたて」。熟成せず

に出荷するため、フレッ

シュでみずみずしい味わ

いです。三〜四月の旬は

「春酒」。口当りなめらか

な、常温でも楽しめる日

本酒で花見酒とも言われ

ます。五〜七月の夏が旬

の「夏酒」。冬に絞られ低

温熟成され、冷やしてお

いしい清涼感或るまろや

かな味わいです。そして

これからの時期に旬をむ

かえるのが「ひやおろし」

です。冬先にできた新酒



に火入れ(加熱殺菌)を

して、春夏は涼しい蔵で

貯蔵します。そうしてで

きた「ひやおろし」は熟

成が深まり、うまみが増

した滑らかな味わいが楽

しめ日本酒本来の旨みを

味わえるといわれます。

味覚の秋、自分好みの日

本酒を探してみたいか

がですか? (ゆーすけ)

僕がんばっています



このコーナーでは、新

たに日環サービスに加

わった仲間たちを紹介

していきます。第一回目

は今年二月に入社の占

野靖朋さんです。

二月といえば北へ南へ

昼も夜も我が社は繁

忙期真っ盛りのシーズ

ン、占野さんと初めて会

ったのは電鉄駅舎内

のコーティング作業で



せずに高いところも

ちろん低く狭い場所ま

で、体つきに似合わぬ

(失礼!)細やかな仕事

ぶりと一緒に働く作業

員からも定評がありま

す。あ、少くだけ織田

裕二に似ています(笑)

今回発行されたこの紙

面のレイアウトや季節

物のコラム等は占野さ

んが担当、編集会議にお

いても話している内容

に即座にレイアウト案

やコラムの別案などを

リアルタイムで提案し

ていく様子や、先見の早

さはそのまま現場の作

ecoへの取り組み

弊社にて Green Earth

Project を掲げてから五

年が経過しようとしてい

ます。

限りある資源と地球環境

を大切にしている行動は、

様々な企業で取り組むべ

き大きな課題です。我々

の清掃業務で使用する

「洗剤」に目を向けると、

一昔前は「汚れを除去す

る洗剤は強ければ強い程

良い!」と考えられてき

ましたが、今の考え方は

「環境に配慮した、人体

に影響の少ない洗剤」が

主となりつつあります。

汚水を流す事で生じる

「環境汚染」強い洗剤を

使用する事による「素材

への影響」「人体へのアレ

ルギー影響」を懸念し、

我々は自社生成による

「アルカリ電解水」を使

用しています。

アルカリ電解水とはどん

な物か?簡単に説明しま

すと、汚れに反応してア

ルカリ成分が「中性」へ

と変化を起こします。中

性へと変化した電解水は

素材に対して残留影響を

与えず、素材の劣化や人

体への影響、汚水の排水

から生じる環境負荷を減

小さめます。

我々の行動は小さな事か

もしれませんが、環境を

大切にしている行動を忘れず

に今後も取り組んで行き

たいと思います。

(HIRO)

編集後記

ようやく創刊号の発

刊に行き着く事が出来

ました。内容はまだまだ

ですが今後期待と言

う事でこれからもよろ

しくお願い致します。

